

ウィキペディア
フリー百科事典

日前神宮・國懸神宮

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

日前神宮・國懸神宮（ひのくまじんぐう・くにかかすじんぐう）は、和歌山県和歌山市にある神社。1つの境内に**日前神宮・國懸神宮**の2つの神社があり、総称して**日前宮**（にちぜんぐう）あるいは**名草宮**とも呼ばれる。

両社とも式内社（名神大）、紀伊国一宮で、旧社格は**官幣大社**。現在は**神社本庁**に属さない**単立神社**。

概要

入口から向かって左に日前神宮、右に國懸神宮がある。和歌山市内にある当社と**竈山神社**、**伊太祁曽神社**に参詣することを「**三社参り**」という。

祭神

日前神宮

主祭神

- 日前大神**（ひのくまのおおかみ）

日像鏡（ひがたのかがみ）を**神体**とする。

相殿神

- 思兼命**（おもいかねのみこと）
- 石凝姥命**（いしこりどめのみこと）

國懸神宮

主祭神

- 國懸大神**（くにかかすのおおかみ）

日矛鏡（ひぼこのかがみ）を**神体**とする。

相殿神

- 玉祖命**（たまのやのみこと）
- 明立天御影命**（あけたつあめのみかげのみこと）

日前神宮・國懸神宮



境内入口

所在地	和歌山県和歌山市秋月365
位置	北緯34度13分44秒 東経135度12分8秒
主祭神	日前神宮：日前大神 國懸神宮：國懸大神
神体	日前神宮：日像鏡 國懸神宮：日矛鏡
社格等	式内社（名神大） 紀伊国一宮 旧官幣大社
創建	（伝）神武天皇2年
本殿の様式	入母屋造
別名	日前宮・名草宮
例祭	9月26日
主な神事	御鎮座祭（4月8日）
地図	



■ 鈿女命（うづめのみこと）

神体の鏡について

神体の鏡はいずれも伊勢神宮内宮の神宝である八咫鏡と同等のものとされる。八咫鏡は伊勢神宮で天照大神の神体とされていることから、日前宮・国懸宮の神はそれだけ重要な神とされ準皇祖神の扱いをうけていた。日神（天照大神）に対する日前神という名称からも、特別な神であると考えられている。また、伊勢国が大和国への東の出口に対して、当社は西の出口にあるため、伊勢神宮とほぼ同等の力を持っていたといわれている。



神階について

日前神宮の祭神である日前大神は天照大神の別名でもあり、朝廷は神階を贈らない別格の社として尊崇した。神位を授けられることがなかったのは伊勢神宮においては日前・国懸両神宮しかなかった。なお、日前大神が天照大神の別名とされることについては諸説がある。



日前神宮

歴史

日本で最も歴史のある神社の一つで、神話と関わりが深い。『日本書紀』に、天照大神が岩戸隠れした際、石凝姥命が八咫鏡に先立って鑄造した鏡が日前宮に祀られているとの記述がある。社伝によれば、神武東征の後の神武天皇2年、紀国造家（紀氏）の祖神である天道根命（あめのみちねのみこと）が、八咫鏡に先立って鑄造された鏡である日像鏡・日矛鏡を賜り、日像鏡を日前宮の、日矛鏡を国懸宮の神体としたとしている。



国懸神宮

当初は名草郡毛見郷浜宮に祀られ、垂仁天皇16年に現在地に遷座したと伝えられている。なお、伊太祁曾神社の社伝では、元々この地に伊太祁曾神社があったが、紀伊国における国譲りの結果、日前神・国懸神が土地を手に入れ、伊太祁曾神社は現在地に遷座したとしている。また、日前・国懸両神宮の遷宮前の旧社地には浜宮神社が鎮座している。

朱鳥元年（686年）には国懸神に奉幣したとの記事がある。『延喜式神名帳』では名神大社に列し、紀伊国一宮とされた。中世には、熊野詣での途中で参拝されたとの記録がある。

天正13年（1585年）に豊臣秀吉に攻め込まれ、社領が没収された。その際社殿が取り壊され境内が荒廃したが、江戸時代に紀州藩初代藩主徳川頼宣により社殿が再興された。しかし現在は最盛期の5分の1の広さになっており、社殿や施設などは往時を忍ぶに及ばない。さらに1919年（大正8年）には国費による改善工事によって境内の建物はすべて一新されており、旧観は大きく変化している。1926年（大正15年）3月の工事完成をもって現在の左右対称の姿となった。

1871年（明治4年）、近代社格制度において両宮ともに官幣大社に列せられた。現在は神社本庁などの包括宗教法人に属さない単立神社となっている。

境内

- 日前神宮本殿
 - 拝殿
- 國懸神宮本殿
 - 拝殿
- 社務所

摂末社

摂社

- 天道根神社 - 祭神：天道根命
- 中言社 - 祭神：名草姫命、名草彦命



天道根神社



中言神社

末社

- 深草神社 - 祭神：野槌神
- 邦安神社 - 祭神：松平頼雄命
- 市戎神社 - 祭神：蛭子神
- 松尾神社 - 祭神：大山咋神、中津島姫命（市杵島姫命）



邦安神社



市戎神社



松尾神社

主な祭事

- 節分祭・お焚き上げ祭（古神札焼納祭）（2月3日）
- 御鎮座祭（4月8日）
- 日前宮薪能（7月26日）
- 例大祭（9月26日）

現地情報

所在地

- 和歌山県和歌山市秋月365

交通アクセス

鉄道

- 最寄駅：和歌山電鐵貴志川線 日前宮駅（徒歩1分）
- JR西日本紀勢本線ほか・和歌山電鐵貴志川線 和歌山駅（徒歩20分）

バス

- 和歌山バスで「日前宮前」バス停下車（下車後徒歩すぐ）

関連図書

- 白井永二・土岐昌訓編集『神社辞典』東京堂出版、1979年、289-290頁
- 上山春平他『日本「神社」総覧』新人物往来社、1992年、232-233頁
- 菅田正昭『日本の神社を知る「事典」』日本文芸社、1994年、192頁

関連項目



ウィキメディア・コモンズには、日前宮・國懸神宮 ([https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Hinokuma-jingu_Kunikakasu-](https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Hinokuma-jingu_Kunikakasu-jingu)

[jingu?uselang=ja](#)に関連するカテゴリがあります。

- 日前三神宮と高大明神の用水相論
- 瀬織津姫
- 天照大神
- 和歌山県の観光地

外部リンク

- 日前三神宮・國懸神宮（日前三宮）（公式サイト）（2014年2月12日閲覧） (<http://hinokuma-jingu.com/>)
 - 旧公式サイト (<https://web.archive.org/web/20060619195735/http://www10.ocn.ne.jp/~hinokuma/index.html>)
 - 日前三神社 (<http://21coe.kokugakuin.ac.jp/db/jinja/520001.html>)、國懸神社 (<http://21coe.kokugakuin.ac.jp/db/jinja/520002.html>)（國學院大學21世紀COEプログラム「神道・神社史料集成」）
 - 日前三神宮・國懸神宮 | わかやま記紀の旅 | 和歌山県観光情報（2014年2月12日閲覧） (<http://www.wakayama-kanko.or.jp/marutabi/kikinotabi/map/n-hinokuma.html>)
-

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=日前三神宮・國懸神宮&oldid=95561851>」から取得

■